MEIJO
Q&A

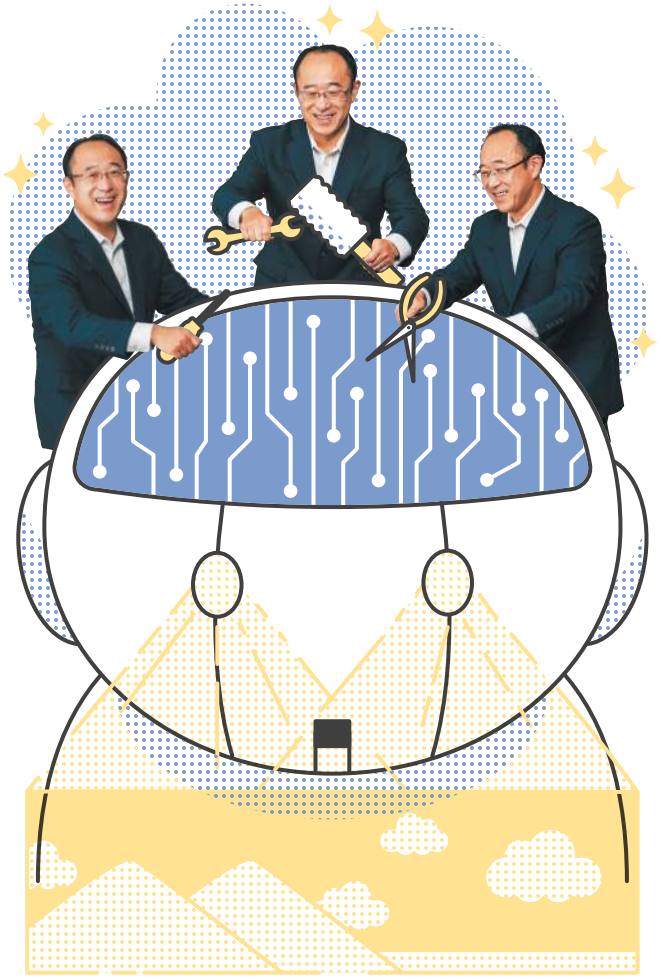
理工学部 電気電子工学科

Q AIが進化すると なくなる職業があるって本当ですか？

データから類推できる作業をAIに任せ、人は創造性豊かな仕事をしていく時代になります。

AIの進化によって 働き方が変わることは事実です。

少子化が進むと働き手が少なくなるため、ある程度の仕事をAIに頼らざるを得ません。すると「人がやる仕事がなくなるのでは？」「この先、どんな仕事を選べばいいの？」と不安に思うかもしれませんが、AIはどんなことが得意なのかを知ればその心配も解消されるでしょう。AIは膨大なデータから先入観なく学習することに長けていますので、「膨大なデータを得やすいもの」や「ルールや法則があるもの」などが得意です。逆に、創造性やコミュニケーションはまだ人には及びませんから、人間味あふれる仕事こそ人の出番です！AIと人の分業化によって、より働き方は豊かになる、と私は思っています。



AIはまだ赤ちゃんの段階。 これからの成長が研究の面白さです。

私はディープラーニングなどの新しい画像認識法を研究し、さらにそれらを医学・細胞生物学・植物学・材料化学・土木工学などさまざまな分野の画像を認識することへ応用しています。各分野の最先端課題を、私たちの画像認識技術で解決していくことはやりがいがあります。人間は簡単に物が認識できるのに、コンピュータは学習データによって学習や認識に偏りがあるなど、まだまだ未発達です。実は私たち人間が脳内でどのようにして物を認識しているかも完全にはわかっていませんから、コンピュータの学習や認識が難しい問題だということは当然です。ですから、独自の考えで新しい手法を考案していくことに研究の醍醐味を実感しています。

堀田 一弘 先生
Hotta Kazuhiro

学生時代にパターン認識の研究で世界的に有名な電子技術総合研究所で最先端の研究に触れました。そこで働く方々が楽しそうに研究する姿を見て、研究者という職業に魅力を感じました。一緒に最先端の研究ができる学生の入学を待ち望んでいます。

＼コロナ禍になって／
始めたもの・ハマったもの

仕事がオンラインになり、家族との時間が増えました。

特にハマったものはありませんが、家で夕食を取ることが多くなり、家族と過ごす時間が増えたことはよかったです。自宅でもオンラインで研究や国際会議への参加ができるようになり、コロナ禍になる前と後で生活の変化を感じています。